



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月27日

上場会社名 株式会社モリタホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6455 URL <https://www.morita119.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 金岡 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 村井 信也 (TEL) 06-6208-1915  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	12,417	19.3	△27	—	58	—	△124	—
2022年3月期第1四半期	10,411	0.1	△721	—	△623	—	△601	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △452百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 △564百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△2.83	—
2022年3月期第1四半期	△13.25	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	119,461	80,525	66.6
2022年3月期	125,167	81,906	64.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 79,574百万円 2022年3月期 80,947百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2023年3月期の配当予想につきましては、現時点では「未定」といたします。連結業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため記載しておりません。詳細は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	46,918,542株	2022年3月期	46,918,542株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,817,534株	2022年3月期	2,817,506株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	44,101,040株	2022年3月期1Q	45,435,540株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円安や材料価格の高騰、半導体の供給不足など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境に加え、当社グループにおきましては、消防車輛事業及び環境車輛事業においてシャシ（車台）の供給時期が不安定な中、受注確保に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は32,308百万円（前年同四半期比110百万円減、0.3%減）、売上高は12,417百万円（前年同四半期比2,005百万円増、19.3%増）となりました。損益につきましては、営業損失は27百万円（前年同四半期は721百万円の損失）、経常利益は58百万円（前年同四半期は623百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は124百万円（前年同四半期は601百万円の損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①消防車輛

消防車輛事業は、海外売上が堅調に推移し、売上高は4,906百万円(前年同四半期比43.8%増)となりました。

#### ②防災

防災事業は、消火器の売上が堅調に推移し、売上高は4,042百万円(前年同四半期比7.0%増)となりました。

#### ③産業機械

産業機械事業は、製品の売上が堅調に推移し、売上高は1,344百万円(前年同四半期比23.2%増)となりました。

#### ④環境車輛

環境車輛事業は、シャシ（車台）供給遅延に伴う生産への影響もあり、売上高は2,124百万円(前年同四半期比0.3%減)となりました。

当社グループの売上高及び利益は、消防車輛事業の官公庁向け売上高の占める割合が高いこと等から、第4四半期に集中する傾向にあります。

### (2) 財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

当第1四半期連結会計期間の総資産は119,461百万円（前連結会計年度末比5,706百万円の減少）となりました。

流動資産は、66,753百万円となり4,876百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が10,192百万円減少した一方で、棚卸資産が4,346百万円増加したことによるものです。

固定資産は、52,708百万円となり830百万円減少しました。うち有形固定資産は、32,438百万円となり259百万円増加し、無形固定資産は、2,704百万円となり31百万円増加し、投資その他の資産は、17,565百万円となり1,121百万円減少しました。

流動負債は、29,288百万円となり3,829百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,885百万円、未払法人税等が1,720百万円減少したことによるものです。

固定負債は、9,647百万円となり495百万円減少しました。

純資産は、80,525百万円となり1,380百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上124百万円、剰余金の配当926百万円、その他有価証券評価差額金が892百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が571百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.7%から66.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ414百万円減少の28,718百万円となりました。なお、当四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,149百万円の収入(前年同四半期は3,867百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の減少額10,991百万円で資金が増加した一方で、棚卸資産の増加額4,154百万円、仕入債務の減少額3,773百万円、法人税等の支払額2,683百万円で資金が減少したことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、615百万円の支出(前年同四半期は298百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出506百万円、無形固定資産の取得による支出111百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、963百万円の支出(前年同四半期は738百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額906百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、消防車輛事業及び環境車輛事業においてシャシ(車台)の供給時期が不透明であり、現時点では合理的な業績予想の算定が困難であるため、連結業績予想を未定としております。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,276	28,934
受取手形及び売掛金	22,406	12,213
電子記録債権	1,812	2,005
商品及び製品	3,512	3,837
仕掛品	7,770	10,759
原材料及び貯蔵品	5,608	6,641
その他	1,457	2,557
貸倒引当金	△216	△195
流動資産合計	71,629	66,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,137	10,030
機械装置及び運搬具（純額）	2,406	2,305
土地	18,468	18,457
建設仮勘定	254	724
その他（純額）	912	921
有形固定資産合計	32,179	32,438
無形固定資産		
のれん	1,820	1,792
その他	852	912
無形固定資産合計	2,672	2,704
投資その他の資産		
投資有価証券	12,879	11,525
退職給付に係る資産	1,517	1,518
その他	4,906	5,137
貸倒引当金	△616	△616
投資その他の資産合計	18,686	17,565
固定資産合計	53,538	52,708
資産合計	125,167	119,461

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,601	5,715
電子記録債務	7,827	6,983
短期借入金	954	991
1年内返済予定の長期借入金	5,316	5,316
未払法人税等	2,005	284
賞与引当金	1,161	587
役員賞与引当金	119	23
製品保証引当金	491	492
リコール関連引当金	179	167
その他	6,460	8,726
流動負債合計	33,118	29,288
固定負債		
長期借入金	54	57
退職給付に係る負債	4,075	4,076
役員退職慰労引当金	11	11
その他	6,002	5,501
固定負債合計	10,143	9,647
負債合計	43,261	38,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,746	4,746
資本剰余金	5,048	5,048
利益剰余金	71,099	70,048
自己株式	△3,042	△3,042
株主資本合計	77,851	76,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,319	4,427
繰延ヘッジ損益	11	11
土地再評価差額金	△2,600	△2,600
為替換算調整勘定	321	892
退職給付に係る調整累計額	44	43
その他の包括利益累計額合計	3,095	2,774
非支配株主持分	959	951
純資産合計	81,906	80,525
負債純資産合計	125,167	119,461

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	10,411	12,417
売上原価	7,731	8,991
売上総利益	2,680	3,426
販売費及び一般管理費	3,401	3,454
営業損失(△)	△721	△27
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	59	77
受取賃貸料	20	21
その他	81	84
営業外収益合計	162	183
営業外費用		
支払利息	14	15
賃貸費用	1	1
為替差損	0	26
持分法による投資損失	43	35
その他	5	17
営業外費用合計	65	97
経常利益又は経常損失(△)	△623	58
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△621	58
法人税等	△13	188
四半期純損失(△)	△608	△130
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△5
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△601	△124

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△608	△130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△348	△892
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	283	490
退職給付に係る調整額	4	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	104	80
その他の包括利益合計	43	△322
四半期包括利益	△564	△452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△557	△446
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△621	58
減価償却費	455	455
のれん償却額	111	114
貸倒引当金の増減額(△は減少)	77	△22
リコール関連引当金の増減額(△は減少)	—	△12
受取利息及び受取配当金	△60	△78
支払利息	14	15
持分法による投資損益(△は益)	43	35
有形固定資産除売却損益(△は益)	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	16,247	10,991
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,034	△4,154
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,325	△3,773
その他	△433	133
小計	6,475	3,763
利息及び配当金の受取額	60	78
利息の支払額	△7	△8
法人税等の支払額	△2,659	△2,683
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,867	1,149
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△131	△506
有形固定資産の売却による収入	93	12
無形固定資産の取得による支出	△35	△111
貸付けによる支出	△160	△0
貸付金の回収による収入	0	61
その他	△64	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298	△615
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	155	△10
配当金の支払額	△849	△906
非支配株主への配当金の支払額	△3	△2
その他	△40	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△738	△963
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,854	△414
現金及び現金同等物の期首残高	22,839	29,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,694	28,718

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,412	3,776	1,091	2,131	10,411
その他の収益	—	—	—	0	0
外部顧客への売上高	3,412	3,776	1,091	2,131	10,411
セグメント間の内部売上高又は振替高	26	48	0	72	147
計	3,438	3,824	1,091	2,204	10,559
セグメント利益又は損失(△)	△1,033	62	133	122	△714

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△714
セグメント間取引消去	1
棚卸資産の調整額	△7
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△721

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	消防車両	防災	産業機械	環境車両	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,906	4,042	1,344	2,121	12,414
その他の収益	—	—	—	2	2
外部顧客への売上高	4,906	4,042	1,344	2,124	12,417
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	55	2	30	116
計	4,934	4,098	1,346	2,154	12,534
セグメント利益又は損失(△)	△431	234	122	41	△33

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△33
セグメント間取引消去	0
棚卸資産の調整額	4
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△27

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	7,541	+14.6
防災	3,982	+14.5
産業機械	1,278	+3.3
環境車輛	2,174	△10.9
合計	14,976	+9.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	25,257	△4.0	34,748	△3.6
防災	2,041	+11.4	5,630	+18.9
産業機械	1,840	+29.5	5,045	+62.5
環境車輛	3,168	+11.4	7,082	+38.6
合計	32,308	△0.3	52,506	+7.2

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4 防災事業の防災機器部門は見込生産を行っているため、上記の実績には含まれておりません。

## 3 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
消防車輛	4,906	+43.8
防災	4,042	+7.0
産業機械	1,344	+23.2
環境車輛	2,124	△0.3
合計	12,417	+19.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。